

## 株主メモ MEMO

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日(当事業年度の中間配当の予定はございません)
公告の方法	電子公告により、当社ホームページ( <a href="http://www.fujipream.co.jp/">http://www.fujipream.co.jp/</a> )に掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話0120-094-777(通話料無料)

## ご注意

- 1 株主様の住所変更、買取請求、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 3 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

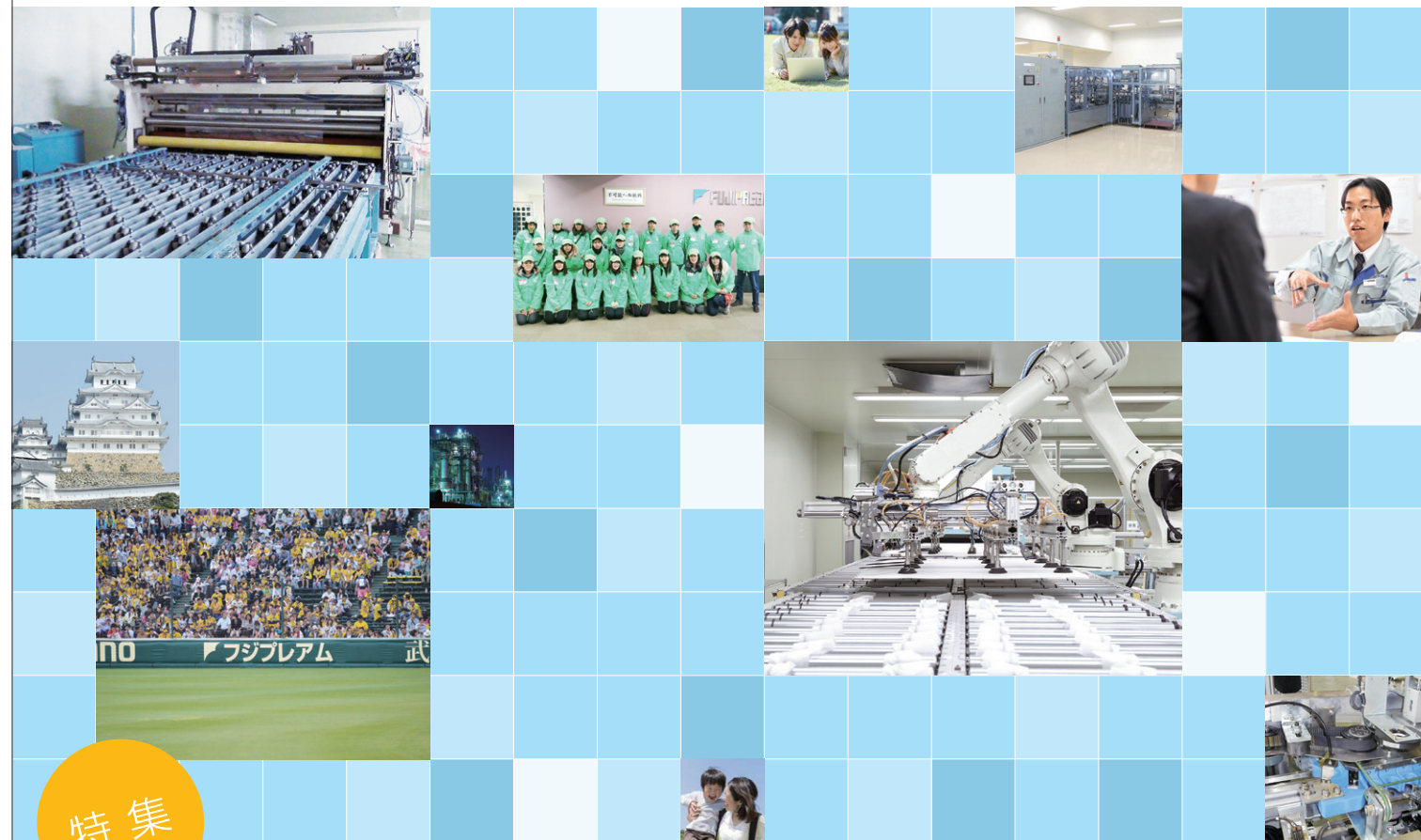
フジプレアムと社会を結ぶ情報誌

PRE【プレ】

フジプレアムの「プレ」は「先駆ける」、「アム」は「存在」という意味が込められています。この「プレ」をタイトルにした株主通信は、株主の皆様にも適切な経営情報を先駆けてお届けし、フジプレアムと社会との関わりを分かりやすくお伝えするとともに、当社が誇る技術や将来性などをご紹介してまいります。

FUJIPREAM  
JASDAQ 証券コード: 4237

フジプレアムと  
社会を結ぶ情報誌【プレ】  
VOL.33  
第34期年次報告書



特集

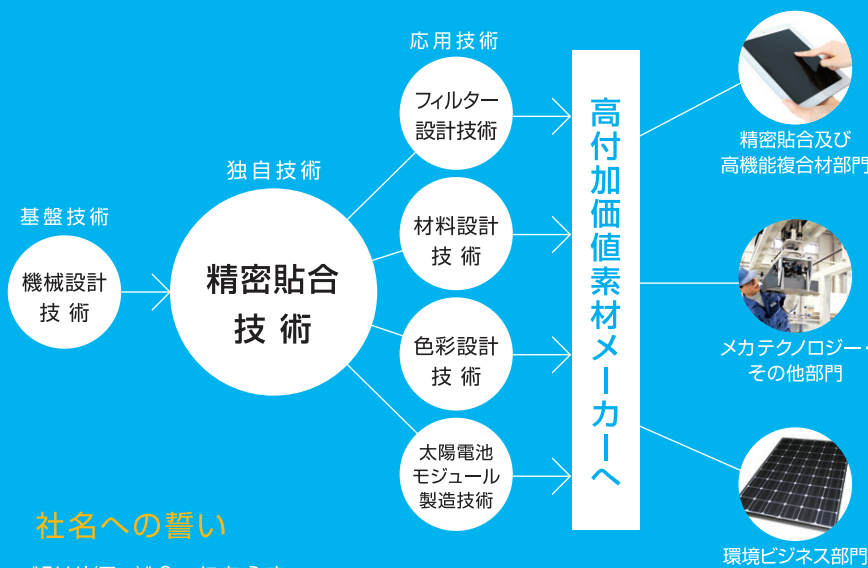
新たなパートナーやお客様とともに、“未来の工場”をつくる  
製造メカトロニクス 新たなステージへ

# 不可能への挑戦

フジプレミアムは「不可能への挑戦」を掲げ、未来を切り開く研究開発型企业です。

## 経営ビジョン

フジプレミアムは、精密貼合技術を活かし、新たな価値を創造する素材メーカーを目指します。



## 社名への誓い

"FUJI(不二)" 2つにあらず、  
"pre" 先駆けて、"am" 存在する企業でありたいと、  
常に「不可能への挑戦」を心がけています。

## 経営理念

「人」は「財」なり、「財」は「人」作りなり  
創意、継続は大いなる「財」なり  
自然は大いなる「恵」なり。  
全てに対して大いなる「感謝」

高度情報化  
社会

地球環境  
共生社会



光都工場

光都PV工場

100年先の暮らしを照らすため、自らに与えられた使命を果たす。  
「共存・共生・共産」の理念で、住みよい社会づくりを目指します。

更なる研究・技術開発・マーケティング活動を行い、  
新規ビジネスの開拓、新たな受注の拡大に繋げていく。

株主・投資家の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素よりフジプレミアムグループの事業につきまして格別のご理解とご支援  
を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第34期(平成28年3月期)決算報告  
書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社を取巻くビジネス環境は、政府と日銀による経済対策及び金融政策を  
背景に、緩やかな回復基調で推移したものの、中国をはじめとする新興国経済  
の減速感の強まり等、海外での景気下振れリスクの懸念に加え、為替相場や  
株式市場が大きく変動する等、先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の中、精密貼合及び高機能複合材部門におきましては、  
コア技術である精密貼合技術とメカトロニクス技術を活用し、ディスプレイ  
用部材やタッチパネルの製造で、高品質、高効率を追求し、シェアを拡大して  
まいりました。そして、新しい分野として、新素材加工やLED関連、ロボット  
関連等の付加価値の高いビジネス分野への展開を図っております。

環境ビジネス部門におきましては、変化点を迎えた太陽光発電市場で、  
優位性のあるポジションを築くために、高効率モジュールや追尾型太陽光  
発電システム等の差別化された製品の開発、OEM品等の供給力拡大、競争  
力のある価格を実現するための施策を実施してまいります。また、環境分野  
での新たなビジネスチャンスを獲得すべく、市場のニーズに対してトータル  
で提案できる体制を構築してまいります。

今後当社といたしましては更に研究開発・技術開発・マーケティング活動  
を行い、新規ビジネスの開拓、新たな受注の拡大に繋げてまいります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろ  
しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 松本倫長



## ロボット化・自動化を、 次なる成長のエンジンへ。

フジプレアムは、メカトロニクス事業による「ロボット化・自動化」を重点施策と位置づけて、新たなステージへ踏み出します。

人材不足の解消や、生産効率のアップ、さらには、“魅せる工場”“未来の工場”づくりまで。創業以来育んできたメカトロニクスの技術が、今、大きく花ひらこうとしています。



### サンワテクノス株式会社

設立 1949年11月  
 上場 東京証券取引所 東証1部(8137)  
 本社 東京都中央区京橋3-1-1  
 代表 代表取締役社長 山本 勢  
 資本金 25億5,300万円

事業概要 (株)安川電機、オムロン(株)をはじめ、有力メーカーの代理店として、メカトロニクス製品、産業用エレクトロニクス製品を取り扱う技術商社。ロボットを中心に自動化システムの提案・販売に注力している。(営業拠点:国内20ヶ所海外25ヶ所)



### 電子・電機・機械に強い技術商社、 サンワテクノスと業務提携。

少子高齢化や、地方からの若者の流出などを受けて、ものづくりの現場では「人材不足」の問題が顕在化・深刻化しつつあります。こうした事態を解消するために、ロボットの活用などによる自動化、生産の効率化への期待が高まっています。

そんな中、フジプレアムが創業以来ノウハウを培ってきたメカトロニクス技術と、電子部品やロボットの取り扱いを得意とするサンワテクノス様の強みを生かし合うことで、より多くの製造現場のニーズに応えることができると考え、2016年4月、業務提携の合意に至りました。

### さまざまなかたちで、 お互いの強みを生かせるパートナー。

サンワテクノス様は、国内・海外にそれぞれ20ヶ所以上の営業拠点を展開するグローバル・カンパニーです。70年近い歴史をもち、マーケティングや営業活動において、技術商社としての大きな強みを発揮しています。販売面をサンワテクノス様に強力に推進していただくことで、私たちフジプレアムは、技術面の開発や付加価値の向上に、より専念することができ、さらに質の高い提案を実現できると考えています。

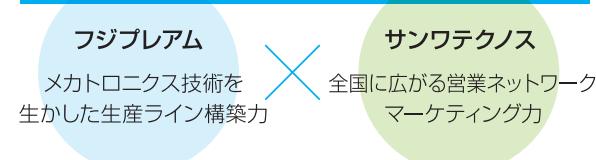
また、フジプレアムのメカトロニクス事業部は、もともと包装、食品、医薬品関係を中心に包装機器を提供してきました。一方で、サンワテクノス様は電子機器や半導体、自動車関連のお客様へと事業を展開しています。お互いに得意としてきた分野が違いため、それぞれがこれまで手を伸ばせていなかった分野を補完し合うことで、スピード感をもった販路の拡大を

めざすことができます。

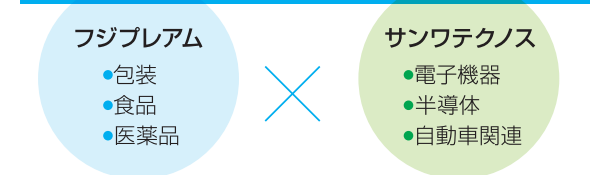
今回の業務提携は、多くの面から双方にメリットをもたらし、お客様や社会に対しても、より大きな価値を提供していくための原動力になると考えます。

### 2社の強みを融合

#### 得意な事業領域



#### 得意な顧客分野



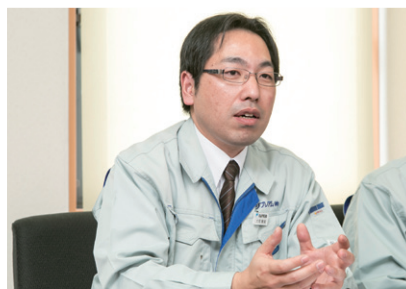
## フジプレアムの根幹を支えてきたメカトロニクス事業。

フジプレミアム株式会社の前身である株式会社不二は、1982年に包装資材の販売を目的に設立されました。その翌年には、自動包装機械の製造・販売まで手がけるようになり、機械事業部を開設。自社で機械製造を行い、お客様のご要望に合わせてさまざまな改良や工夫を重ねることで、独自のメカトロ技術が蓄積されてきました。

こうした経験が、社内設備の内製化につながり、現在のコア技術である「精密貼合」にも深く結びついています。貼り合わせる素材や形状、大きさ、付加する機能など、その時々で変化する課題をクリアするために、自社で加工ラインの構築や調整を行い、他に二つと無い加工技術を確認させてきたのです。

## 多様な現場を経験することで、さらなるノウハウの蓄積を。

フジプレミアムの歴史は、「メカトロニクス」と「加工ビジネス」が両輪となって、お互いを高め合いながら成長してきた歩みといってもいいかもしれません。そして今、サンワテクス



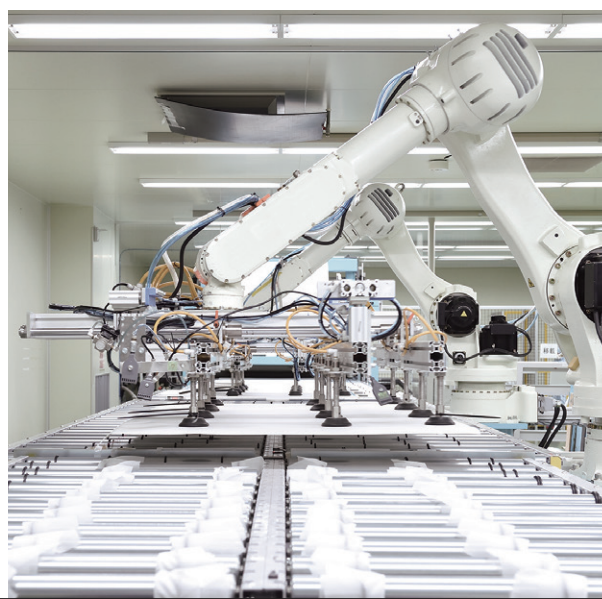
メカトロ技術開発部 部長  
大塚 寛樹



メカトロ部 部長  
杉本 正則

様との業務提携をはじめ、これまで以上に多彩な分野へとメカトロ技術を提供できるチャンスが生まれています。

さまざまな業界、さまざまな製品の製造現場にふれ、課題を解決へと導いていくプロセスを通して、私たちは製造メカトロニクスに一層磨きをかけ、知見を広げていくことができると考えています。このことは、メカトロ事業そのものの成長はもちろん、精密貼合を核にしたあらゆる事業の強化につながっていくはずだと期待しています。



取締役 総合管理部長 兼  
フジプレ販売代表取締役社長  
名村 信彦

## 私たちだからできる、課題解決を。

今、さまざまなものづくりの現場が、自動化や省人化を必要としています。その中には、既存の製造設備のカタログを探しても解決できないような課題も多くあります。私たちは、ロボットを活用した自動化システムの提案から設計、製造、設置、試運転までを一から手がけることで、既製品や他の機器メーカーでは手が行き届きにくいような、細やかで柔軟な対応を可能にしています。

これまでに培ってきた実績と信頼から、「他社では難しいと言われたが、何とかできないだろうか」「今、こんなことで困っている」というご相談を、お客様からいただく機会も増えてきました。その信頼に応えるためにも、フジプレミアムらしい技術と工夫の詰まった課題解決を提案していきたいと考えています。

## お客様と夢を語り、未来の工場をつかっていく。

生産能力の増強や、歩留まりの向上、省力化。お客様はさまざまな課題を抱えていらっしゃいますが、実は、私たちにいただくご相談は、必ずしも生産の合理化やコストダウン



フジプレミアムの会長の部屋には今も、メカトロ事業のルーツである会社の看板が大切に保管されている。

を目的としているわけではないケースが、数多くあります。たとえば、「これまで人が作業していた危険な作業をロボットが担うことで安全性を高めたい」「ロボットを使った“魅せる工場”をつかって、工場視察や見学のときのプレゼンテーション効果を高めたい」「IoTを駆使して生産管理まで行う“未来の工場”をつくりたい」など、私たちが同じものづくりに携わる会社としてワクワクするようなお話が生まれています。

お客様とともに、未来の工場にたくす夢を語り、その実現をとともに目指していく。私たちのメカトロニクス事業の先には、次世代のものづくりの大きな可能性が広がっています。

## 世界遺産姫路城マラソン2016

平成28年2月28日(日)に第2回目となる「世界遺産姫路マラソン2016」が開催されました。

過去最多222万人の年間最多入城者数を記録した世界遺産姫路城をスタートし、歴史情緒あふれる城下町から夢前川、書写山…へと、姫路の自然と文化を感じられる街並みが美しいコースです。

全国から集った1万人のランナーをはじめ、ボランティアや沿道応援と様々な形で多くの方が参加され、今年も盛大なマラソン大会となりました。



当日はたくさんのランナーや応援者が参加し大いに盛り上がりました!



フジプレアムから参加した、ランナーとボランティアスタッフたち。

フジプレアムは地元企業として協賛させて頂いただけでなく、ランナー、ボランティアとしても参加いたしました。ボランティアは昨年より社内参加者が増え25名で参加し、姫路市民、大会事務局、沿道の応援の方々との協力があがり、皆で一丸となることで無事終えることができましたと感じております。フジプレアムは今後もこのような機会を大切に、皆様の暖かいご支援・ご協力を賜りますよう地域貢献を続けて参ります。



## トピックス Topics

### TOPICS 01 今年度の入社式

平成28年度の入社式を3月24日(木)に行いました。松本社長から「ものづくりに必要な技術と知識を身につけるため、向上心を持ち続け、自主性のある社会人になるように一緒に頑張ってもらいたい」と激励の挨拶がありました。



### TOPICS 02 サンワテクノス株式会社との業務提携

4月5日(火)にサンワテクノス株式会社本社において、代表取締役社長 山本 勢様と業務提携契約書への調印を行いました。



2016 3 March

4 April

5 May

### TOPICS 03 新工場の地鎮祭

弊社光都工場に隣接する新工場建設予定地において、5月20日(金)地鎮祭を行いました。なお、高度加工技術を用いたLED光源用基板、最新型タッチパネル、新素材の複合化製品の開発・製造のための研究所兼工場を整備する予定です。



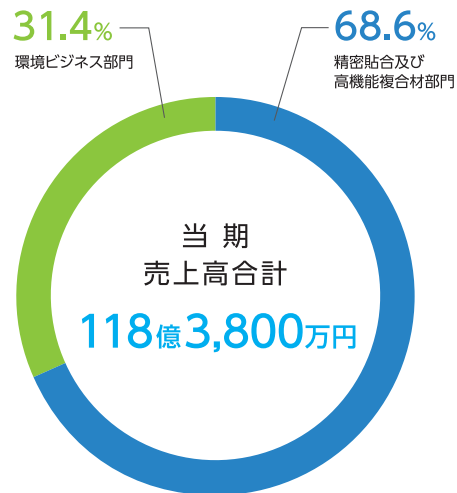
# Segment Information

## 親会社株主に帰属する当期純利益4億600万円確保

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府と日銀による経済対策及び金融政策を背景に、緩やかな回復基調で推移したものの、中国をはじめとする新興国経済の減速感の強まり等、海外での景気下振れリスクの懸念に加え、為替相場や株式市場が大きく変動する等、先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループの主力事業である精密貼合及び高機能複合材部門におきましては、ディスプレイ材料の流通在庫の調整の影響を受け、低調に推移いたしました。また、環境ビジネス部門におきましては、再生可能エネルギー固定価格買取制度の見直しの影響により、大変厳しい市場環境となりました。

この結果、当連結会計年度における当社グループの連結業績は、売上高11,838百万円(前年同期比28.2%減)、営業利益703百万円(同45.2%減)、経常利益706百万円(同49.6%減)を計上し、親会社株主に帰属する当期純利益は406百万円(同49.6%減)となりました。



### 精密貼合及び高機能複合材部門



第34期 売上高  
81億2,300万円

### 営業利益4億1,700万円

国内外におけるディスプレイ市場は、4Kテレビや裸眼3D等の高付加価値タイプのディスプレイ市場が成長し、また、タッチパネル市場におきましては、中大型の静電容量方式の市場が拡大し、産業用分野や教育分野、そしてアミューズメント分野等に使われる用途が広がっております。しかしながら、当社取扱のディスプレイ材料の流通在庫の調整が大きく影響し、当連結会計年度において出荷量が低調となりました。このような市場の変化の中、精密貼合技術やダイレクトボンディング技術を活用し、新規生産設備の導入による生産の高度化を実施、更に、独自の技術を活かしたLED関連事業や新素材加工事業を推進し、新規ビジネスへの取組みを強化してまいりました。この結果、売上高8,123百万円(前年同期比19.8%減)、営業利益417百万円(同50.4%減)となりました。

### 環境ビジネス部門



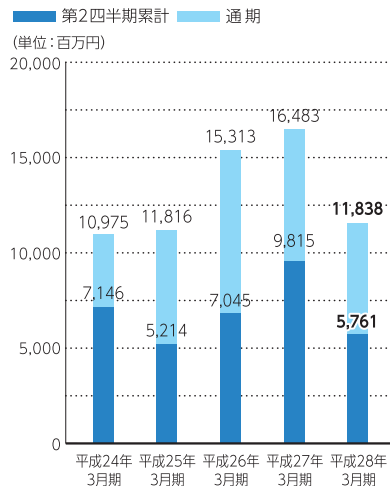
第34期 売上高  
37億1,400万円

### 営業利益2億6,500万円

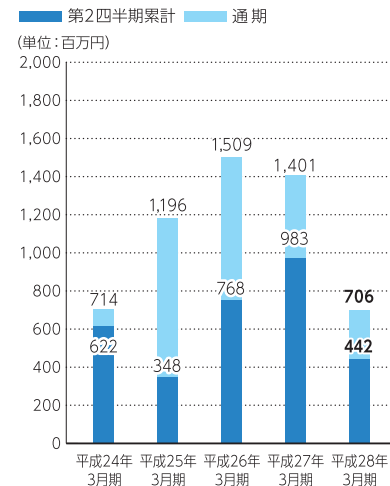
太陽電池の国内市場は、固定価格買取制度の見直しと買取価格の低下、また、海外生産品による価格競争の激化により、産業用市場の環境が急激に厳しさを増しました。このような状況に対応すべく、OEM供給品の生産量の拡大、超軽量太陽電池モジュールの更なる拡販、住宅用発電システム販売の強化、追尾型太陽光発電・蓄電池システム等の新規システムの開発・販売等の施策を実施してまいりました。この結果、売上高3,714百万円(前年同期比41.5%減)、営業利益265百万円(同37.6%減)となりました。

# Financial Highlight

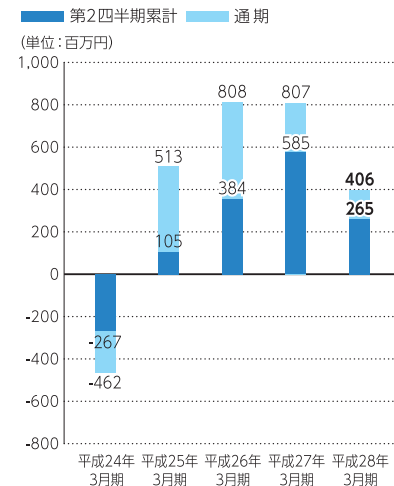
## 売上高



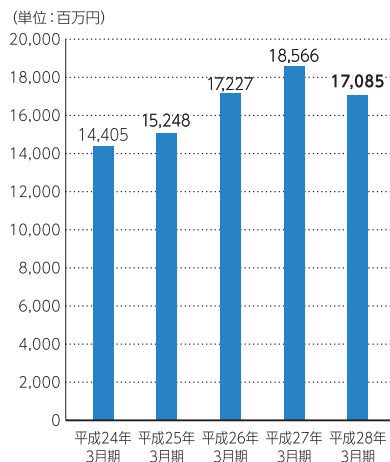
## 経常利益



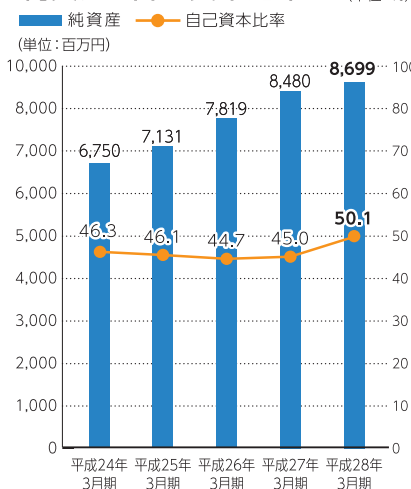
## 親会社株主に帰属する純利益



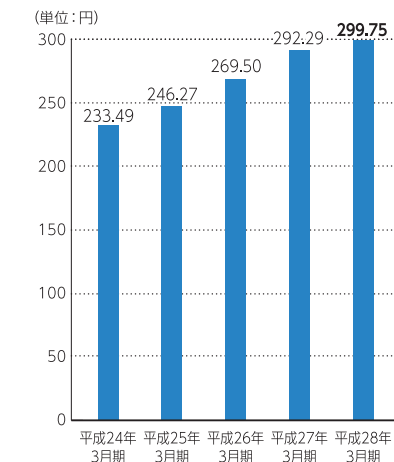
## 総資産



## 純資産・自己資本比率



## 一株当たり純資産



連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当期 (平成28年3月31日)	前期 (平成27年3月31日)
流動資産	10,729,506	12,250,899
現金及び預金	5,716,934	6,872,197
受取手形及び売掛金	1,906,327	2,556,828
商品及び製品	1,804,913	1,345,865
仕掛品	499,068	307,806
原材料及び貯蔵品	686,121	770,663
その他	118,065	404,336
貸倒引当金	△1,923	△6,797
固定資産	6,356,071	6,315,565
有形固定資産	5,984,205	5,909,371
無形固定資産	4,552	9,408
投資その他の資産	367,312	396,786
資産合計	17,085,578	18,566,465

資産の部

(単位:千円)

科目	当期 (平成28年3月31日)	前期 (平成27年3月31日)
流動負債	5,465,364	6,198,432
支払手形及び買掛金	1,072,398	1,279,708
短期借入金	2,350,000	2,250,000
1年内返済予定の長期借入金	1,918,320	2,121,220
未払法人税等	31,526	308,311
賞与引当金	14,233	14,718
その他	78,886	224,473
固定負債	2,921,020	3,887,860
長期借入金	2,773,120	3,712,240
その他	147,900	175,620
負債合計	8,386,384	10,086,292
株主資本	8,536,805	8,301,261
資本金	2,000,007	2,000,007
資本剰余金	2,440,803	2,440,803
利益剰余金	4,959,885	4,724,340
自己株式	△863,890	△863,890
その他の包括利益累計額	28,655	50,890
非支配株主持分	133,731	128,021
純資産合計	8,699,193	8,480,173
負債純資産合計	17,085,578	18,566,465

負債の部

純資産の部

連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当期 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	前期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
売上高	11,838,275	16,483,272
売上原価	10,173,191	14,085,355
売上総利益	1,665,083	2,397,917
販売費及び一般管理費	961,722	1,113,718
営業利益	703,361	1,284,198
営業外収益	35,845	157,988
営業外費用	33,109	40,870
経常利益	706,097	1,401,315
特別損失	—	13,228
税金等調整前当期純利益	706,097	1,388,087
法人税、住民税及び事業税	215,759	525,512
過年度法人税等	51,168	△21,810
法人税等調整額	26,465	67,315
当期純利益	412,704	817,069
非支配株主に帰属する当期純利益	5,710	9,170
親会社株主に帰属する当期純利益	406,994	807,898

連結包括利益計算書

(単位:千円)

科目	当期 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	前期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
当期純利益	412,704	817,069
その他の包括利益	△22,235	14,624
その他有価証券評価差額金	△27,850	23,026
為替換算調整勘定	5,614	△8,401
包括利益	390,469	831,694

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当期 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	前期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	481,170	1,736,112
投資活動による キャッシュ・フロー	△417,167	△361,766
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,225,026	1,797,554
現金及び現金同等物に係る 換算差額	5,760	△8,393
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△1,155,262	3,163,506
現金及び現金同等物の 期首残高	6,822,197	3,658,690
現金及び現金同等物の 期末残高	5,666,934	6,822,197

# Profile

## 会社概要

(平成28年3月31日現在)

商号	フジプレミアム株式会社 Fujipream Corporation (英)
本社所在地	兵庫県姫路市飾西38番地1
設立	昭和57年4月14日
代表者	代表取締役社長 松本倫長
資本金	2,000百万円
事業内容	精密貼合及び高機能複合材関連事業 環境ビジネス関連事業 他
従業員数	229名(連結、臨時雇用を含む)
営業所及び工場	本社 姫路工場 播磨テクノポリス光都工場／研究所／PV工場 東京営業本部／大阪営業本部
連結対象となる子会社	フジプレ販売株式会社(設立:平成13年4月) 上海不二光学科技有限公司(設立:平成15年9月)
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行／みずほ銀行

## 取締役及び監査役

(平成28年3月31日現在)

代表取締役会長	松本 實藏
代表取締役社長	松本 倫長
取締役	名村 信彦
取締役	木村 裕史(社外)
取締役	森田 晃史
常勤監査役	松本 毅(社外)
監査役	瀧元 一(社外)
監査役	神原 丘(社外)

## 株式の分布状況

(平成28年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	105,000,000株
発行済株式の総数	29,786,400株
株主数	4,283名

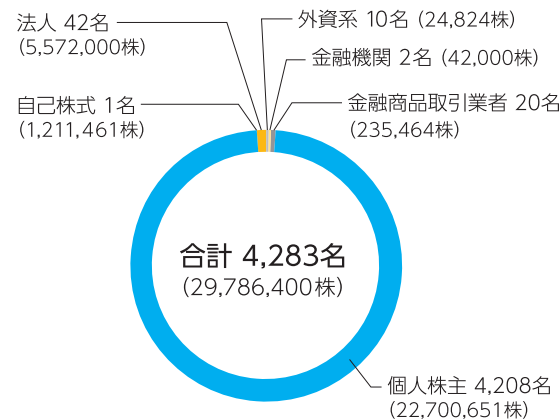
## 大株主の状況

(平成28年3月31日現在)

松本 實藏	11,705,700株
松本 倫長	2,441,400株
松本 庄藏	1,854,000株
東レ株式会社	1,560,000株
日亜化学工業株式会社	1,425,000株
フジプレミアム株式会社	1,211,461株
旭硝子株式会社	936,000株
リンテック株式会社	936,000株
ジェイアンドエム株式会社	475,500株
松本 春代	360,000株

## 株式分布状況

(平成28年3月31日現在)



## HARIMA - TAMBOU

# 播磨探訪

「家島諸島」が広がっています。国生みの島といわれ、「オノゴロ島」と伝えられてきた家島。家島本島、坊勢島、男鹿島、西島の4つの島で、約6千人が暮らしを営んでいます。なかでも特筆すべきは、瀬戸内海が育む、新鮮で豊かな海の幸。イカナゴやシラス、マアジやカレイなど、四季折々の魚介が水揚げされています。

また、島を支える伝統的な産業のひとつとして、海運業も盛ん。真浦区には、採掘された石を運ぶ「ガット船」が停泊しており、家島の名物のひとつにもなっています。

穏やかな時間が流れる姫路の癒やしの島へ、ぜひ出かけてみてはいかがでしょうか？

そこには、大小44の島々からなる「家島諸島」が広がっています。国生みの島といわれ、「オノゴロ島」と伝えられてきた家島。家島本島、坊勢島、男鹿島、西島の4つの島で、約6千人が暮らしを営んでいます。なかでも特筆すべきは、瀬戸内海が育む、新鮮で豊かな海の幸。イカナゴやシラス、マアジやカレイなど、四季折々の魚介が水揚げされています。

vol.31

日本が生まれたところ～家島諸島～

# 出航！ 姫路の島めぐり

姫路市に、離島があることをご存知でしょうか？姫路港から、高速船でわずか30分。

## 島の魅力を知る！オススメの楽しみ方3

### 1 家島めぐりクルーズ

海上タクシーで、島々の間をクルーズ。心地よい風に吹かれながら、瀬戸内の穏やかな海や広い空、島々を眺めて、身も心もリフレッシュしませんか(要予約)。



### 2 家島神社と島あるき

山をすこし登り、神聖な原生林の中にある「家島神社」。境内からは海を一望でき、大パノラマの景色が広がっています。島あるきを楽しみながら、家島神社を参拝するプログラムも開催しています(要予約)。



### 3 ガット船見学

採石場で採掘された、大きな岩をのせて全国に運ぶダイナミックな「ガット船」は、島の名物のひとつ。造船所や船内、巨大船の修理などを見学できるプログラムも開催しています(要予約)。



家島マスコットキャラクター「いえしまたろう」

